

発達障害のある子どもへの支援～親子への支援の重要性～ アンケート結果

*アンケート回収 159	参考になった 143	やや参考になった 14
	どちらでもない 2	参考にならなかった 0

回答者所属		視聴理由	
当事者 2	保護者 27	聞きたい講師だから	23
福祉 39	教育 45	発達障害に関心があるから	103
医療 21	その他 27	知り合いに関わりがあるから	24
保育 19		その他	9

講演時間		講演時間はどの程度が適切か	
適当 149		90分程度	113
長い 7		120分程度	24
短い 3		60分程度	18
		その他	4

☆多みなさまからいただいたご感想より

- ・「今を幸せに」というお言葉が心に響きました。(他 14名)

- ・非常にわかりやすく理解の助けになりました。また講演を聞きたいです。(他 28名)

- ・親から子への対応の仕方が具体的に聞いて良かったです。(他 2名)

- ・発達障害の子には、繰り返しやれば何とか定着できるという意識が教師にはまだありません。定着には、何故そうなるのかを納得できないと定着しないという点で、今後の取組をしっかりと考えないといけないと思いました。(他 15名)

- ・基本的な事を改めて学べた。(他 6名)

- ・発達特性について全体の特性を少しずつ、の講演も多い中、ASD と ADHD のことが詳しく聞いたのが良かったです。(他 5名)

- ・こだわりがあることや、何故か通じないなという気持ちのままでいたけれど、こういうこ

とだったのかと謎が解けた気持ちです。(他 2名)

- ・私たちが子ども達に投げかけている言葉が本当に伝わっているのか、伝わらないことを子どものせいにしていないか、園全体で考える機会をもちたいと思いました。(他 2名)
- ・宮本先生の語り口調も聴き取りやすく、整理されたお話で、飽きることなく最後まで聴くことができました。(他 5名)
- ・今まで発達障害について詳細に学んだことがなく、大変学びが深かったです。(他 3名)
- ・子供への接し方、親の対応の仕方がわかりやすく、とても勉強になりました。(他 8名)
- ・日々の業務に直結する内容で、大変勉強になりました。(他 4名)
- ・保護者支援において参考になる内容でとてもよかったです(他 4名)
- ・私が一番興味をもったのは、時間感覚の部分についてでした。確かに時間感覚については教えられたことはなく、いつの間にか身につけていました。でも子供につたえようとしてもうまくいかなくて。自然と身につけていたことだったからうまく伝わらない、教えられなかったのですね。(他 1名)

発達外来の診察に立ち合っている看護師です。常にドクターがご両親にお話している内容や言葉が多くあり視聴しやすかったです。その個人個人持っている特性と言う事を理解されにくいご両親も居られたりします。色々奥深いものですね。

- ・発達障害の子どもだけでなく、すべての子育てに通じることだと感じました。
- ・発達障害について専門の人の話を聞く機会を自発的にもったのは初めてでした。障害について学ぶことで、障害というレッテルを貼る事に繋がってしまうような気がしていた時期がありました。たとえ障害と診断されなかったとしても、自分の持つ特性のために今の社会で生きづらい部分を抱えている人はけっこういるんじゃないかなと思います。特性をはじめ、沢山の事例を知っていくと、自分の経験だけでは想像が及ばない事が「ある」という認識を持てるようになる気がします。とても良い学びの機会となりました。
- ・ASD 優位の高3男児と ADHD 優位の高1男児、もしかして発達障害あるかもと言われている4歳男児の母です。長男次男のあるあるが満載で楽しく拝見させて頂きました。こ

の子たちが楽しい人生を送れるように、手助け出来ることは出来たらなと思いました。出来る事なら子どもが小学生の時に知れたら嬉しかったなあと思いました。そして教育者の方にも知って頂けていたら嬉しい事だと思います。

- ・日々の指導で、つい先を見越して○年後にはこうだから、今は～しなくてはという観点で接していました。「今、うれしさを感じているか」という観点で見ていきたいと感じました。
- ・当事者の保護者としてとても共感でき、また学校や周囲にも伝えて理解してもらおうよう、これからも続けて行こうと励みになりました。くじけそうになる時もたくさんありますが、宮本先生のお言葉を思い出し前へ進んで行きたいです。
- ・保護者として取り組んできた方向性が講演と同じ方向だったので、安心することができました。進学や就労、将来どうなるかは分かりませんが、今までの取り組みを忘れずにいたいと思います。
- ・10年前には想像も出来なかった高校生活を満喫している兄弟2人を横目に、今、講演を聞いています。言葉は使い方次第、これからの課題としながら配慮と工夫で大いに活用したいです。
- ・自分の子どもが発達障害ではないかと不安な気持ちの頃には大変参考になる話だと思いました。
- ・今回の講演を自分の子どものことを重ねながら視聴させていただきました。普段、子供のためと思っての言動は将来のことを思っていることばかりだったなと反省しました。
- ・「私たちの熱意と誤解」の中での『みんなと同じようにならない』は、発達障害を持つ子どもの成長と発達を祈る思いがある者には痛かったですが、少しでも手助けしていけるように心掛けていきます。
- ・今後、親子への支援というところで支援者向けに親支援の部分に特化した内容の研修などがあればいいのと思いました。
- ・自身の子育てを振り返りながらきくことができました。すでに二次障害を経験していますが、とても参考になることばかりでした。子どもはすでに成人していますが、学んだことを実践していきたいです。

- ・わが身を振り返り、子どもに対して「もっとこうしてあげたら良かったんだな」とか「今からこうしてみよう」という気持ちになりました。
- ・子どもたちが、障害の有無に関わらず毎日を楽しく生きて、夜は満足して寝られる、結局それが一番大切だと私も思います。そのためには、障害を含む生徒たちの特性を周囲が十分理解し、適切な支援・配慮を行えるような環境作りが重要だと感じました。
- ・ASD や ADHD の当事者が、実際感じていることや困っていることが具体的に理解できた。その困りごとへの対処も具体的でわかりやすかった。今、その子が楽しい、うれしいという気持ちを感じられるよう支援するという事は、色々なことに共通する支援法だと思う。
- ・子どもの言葉を借りて、答えを1つに限定できるような質問を心がけたいと思います。少しでも理解できたことが嬉しくて、この先の子育ても楽しくなりそうだなあと思いました。
- ・周りがABAのような考え方で、失敗して学ばすような印象があり、反対に私は失敗を減らしてあげたいのでしんどい部分もありました。先生の講演で、給食セットを用意してあげてもよいのだと知った時はホッとしました。(給食セット8つ用意しています。笑)
- ・宮本先生の優しい語り口で、私達が日頃思っているけれども、日々の診療では上手く指摘できないことを代弁してくれています。先生の許可があれば、主に後半部分をDVDにして貸し出しで視聴してもらいたいと思いました。
- ・問題行動の元となる、当事者の受け止め方や思考についてわかりやすく解説してくださっていて、ずっと話が入ってきました。保護者や教員として肌感覚で理解してきたこと、専門家からもらったアドバイスを元にアレンジを加えながらやってきたことを、「それで正しい」と太鼓判を押してもらったような勇気が出る内容もありました。耳の痛い話もありましたが、その部分は軌道修正をかけながら、我が子にも、学校の子どもたちにも、その子の根源を見つめながら、今後も寄り添っていこうと思いました。
- ・正解のない問題に対して指針を頂きました。自分の考えていた事に誤解があった事に気づかされました。
- ・沢山の人が発達障害の事を知り理解して下されば発達障害の子供達が健やかに幸せにすごせると思います。

- ・発達障害で知りたいことがあったので申し込みました。本で読む情報も良いですが、今回のようにお話を聞けてよかったです。知識以外の大事なことも教えてもらえたように思います。
- ・子どもを見る視点を再確認できるテーマで参考になりました。
- ・他の子どもたちのレベルに合わせようとするのではなく、今の興味関心を引き出し楽しみながら支援ができるようになりたい。
- ・子どもだけではなく保護者に対する配慮も大事にしている点が良かった。
- ・子どもや保護者への支援だけでなく、人の生き方にも共通しているような気がしました。
- ・講演最後の白血病女児のお話から、そのときに本人がやりたいことをさせてあげることの大切さを改めて感じました。

以上 （アンケート結果再集計、編集して掲載）